

生駒市子ども子育て支援懇話会 第2回会議録(要点筆記)

1.開催日時 平成24年11月29日(木)午後3時30分～午後5時

2.開催場所 生駒市コミュニティセンター 301会議室

3.出席者 (参加者)別紙参加者名簿参照
(事務局)池田福祉健康部長、峯島教育総務部長
吉川こども課長、真銅教育総務課長
奥田こども課課長補佐、水野こども課指導主事
浅井教育指導課指導主事
有山教育総務課学務係長

4.会議の公開・非公開 公開 傍聴人数 3名

5.議事内容

(1)座長挨拶

(2)事務局より資料に基づき説明。

事務局より、配布資料に基づき、(仮称)南こども園についての現時点での生駒市の考え方について説明を行う。

(5)討議内容

座長:ただいまの説明に意見や質問はありますか。

参加者:施設建設に伴う費用はどうなのか。

事務局:保育園部分においては、国からの補助はない。市が全額負担。幼稚園については、国からの耐震工事に係る補助があり、補助率は通常3分の1だが、耐震診断の結果、Is値が0.3未満の場合は、現在の基準だと2分の1になると思われる。

座 長:園舎は3歳未満児と3歳以上児で分けるのか。

事務局:一体の建物を予定している。

参加者:南幼稚園の門前は通行量が多く危険。今回の工事で整備してほしい。

事務局:安全面を考慮し、建築段階で考えていく。

参加者:南幼稚園の玄関の間口が狭い。緊急用車両が入れる広さを確保してほしい。

事務局:検討する。

参加者:幼稚園横の川の柵等がなく、自転車を置く際危険。設置をお願いしたい。

事務局:河川は管理課の管轄であるが、確認しておく。

参加者:短時間利用児の預かり保育利用の保育室はどうするのか。

事務局:南幼稚園では、現在の預かり保育の利用が少ないので、考えていない。

座 長:長時間児の昼寝の部屋は別室に設けるのか。

事務局:あくまでも予定だが、パーティションで3つに分けた多目的ホールを使う考えもある。

参加者:その多目的ホールには、布団庫(リネン室)が必要になると思うので、設置をお願いしたい。

事務局:検討する。

参加者:忙しい保護者が、布団を多目的ホールに運んだりするのは、負担となるのでは。

事務局: 施設的には余裕のある園舎を造りたいと考えている。

参加者: 現在、幼稚園では絵本の個人購入をしたり、教材費(実費)を集めて教材を購入している。
保育園では、絵本の個人購入をしていない。こども園では、教材などを購入する場合、どのように考えて集金していけば良いのか。不公平感がでないか心配だ。

事務局: 絵本購入については家庭に費用の負担がかかるということもあり、検討の余地あり。
ある保育園では、毎週金曜日絵本貸出し日があり、自分で本を選んだり、親と一緒に選ぶ楽しさを感じている。
現在の幼稚園のやり方(教材費集金、絵本購入)を、こども園に取り入れるという考え方でなく、こども園としてのものを作りあげていけばいいのではないかと。

座長: 運用はこれからなので、教育的に必要かどうかも含めて事務局でよく検討してほしい。

参加者: 南幼稚園の保護者にパンフレットを配布した後、こども園の新築工事期間中に南小学校内で過ごす1年間に不安を感じている保護者がいる。通園バスの時間と登校時間が重なる。通園バスの乗降場所は小学校の門前では狭いのでは。

事務局: みなみ保育園では以前バス通園を行っており、保育園前の玄関でバスを停めることは可能だ。また、小学校給食室近くの門はやや広く、その場所を使うことも可能だと思うが、安全性を考慮した上で、小学校と協議・検討していきたい。

座長: 小学校の子ども達のことよく考えてあげてほしい。

参加者: 給食について。選択制にするとのことだが、朝から一緒に活動をしているのに給食時には別々のものを食べるということに、子どもの中で戸惑うことにならないか。
弁当の子と給食の子と一緒に食べるというのは、保護者負担が多くなってしまうと思う。
また、短時間利用児が給食を選択した場合、水曜日のみ食わずに帰ることになるのか。

事務局: 費用負担の問題があるので、どちらを選択するかは保護者次第。アレルギーの子どもも同じ給食を食べられない。

事務局:水曜日の11時半降園は変わらない。弁当・給食のそれぞれの良さがあり、他市でも子ども達が喜んで食べていると聞いている。

座長:給食か弁当かを決めてしまうのは、費用の面もあり無理があると思う。幼稚園の保護者はどちらを選ぶだろうか。

事務局:樺原市・大和高田市のこども園では、最初は弁当でがんばっていた保護者も2学期、3学期となるにつれ給食を望む家庭が増えている。

座長:こども園の子ども達も、多分、全員が給食になっていくのだろう。ただ、「選択制」と言いながら、選択できるのは短時間利用児だけで、長時間利用児は選択できない。逆にその点はどうなのかなということはある。

参加者:富雄南幼稚園から富雄南認定こども園に移行していく段階で、年長クラスのみ弁当で頑張りたいと言っていた保護者でも、徐々に給食を希望する人が増えてきて、2年目から完全給食になった。こども園で給食を食べてきたことにより、小学校入学後の給食にもスムーズに対応できた。300名規模の給食を作ることになると、安全面が心配だ。

座長:施設建設の際、現場の意見を聞きながら進めていくべき。他市の状況を見ても、良い施設は現場からしっかり意見を聞いている。

事務局:28年度まで期間はあるので、設計時から皆さんの意見を取り入れていきたい。

参加者:幼稚園では現在、3歳児クラスは介助講師をつけてもらっている。こども園になるとどうなるのか。

事務局:複数担任にすることも含めて、今後検討する。

参加者:短時間利用の3歳児を希望者全員受け入れとなると、今後短時間利用児の割合が増えてくるのではないかと。3歳未満児が進級してくることを見込んだ上で、短時間の3歳児を希望通りに受け入れることができるのか。

事務局:3歳児の入園希望者は前年の10月には人数が把握できる。全てを考慮しても、大丈夫だ
と思う。

参加者:こども園の制服を統一するのに26年度から移行するのであれば、25年度中には検討して
いかなければいけない。

参加者:幼稚園では、兄弟のお下がりの制服を使っている人が多いので、そのことも考慮してよく似
たものを作って欲しい。

事務局:制服としては使えなくても、園生活の中で自由に着ることはできる。また、全く違うものにな
ることはないと思う

座 長:移行期を決めて、決して強制はしないようにしてほしい。

参加者:こども園となったら、長時間の保護者もPTA活動はできるのか。

参加者:保育園の保護者も仕事を持っているが、土曜日や平日でも時間を工夫して保護者会活動
は行っている。学校でも、仕事を持っている人、専業主婦等混在している中でも、それぞ
れが時間を作って活動している。こども園も同じ考えで進めていけばいいのでは。

参加者:27年度に南幼稚園を南小学校で受け入れるに当たり、早めに打ち合わせをして互いの
思い・考えをすり合わせて進めていきたい。

参加者:職員体制として、例年は3月末となる人事異動の内示ではなく、もう少し早めに内示を出せ
ないか。早めに職員体制を伝えてもらうことで、施設を見学しながら、保育運営や壁面製
作等の話し合いもできる。

事務局:28年度に向けては、27年度の早い段階での内示も含め、早めに職員体制を示していけ
るようにしていきたい。

事務局:次回の懇話会は、1月に入ってから開催になると思うが、日程については、追って事務

局から連絡する。今回配布した第一回目の会議録の訂正があれば、12月14日までにこども課へ連絡してほしい。